

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

2021年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。なお、フィールド競技においては、TR5.5及びTR5.13を適用し、WAへの申請対象大会とする。投てき競技においては、アップシューズなどの不適合シューズを使用すると失格の対象となるので注意すること。

2. 招集について

(1) 招集の手順

- ① 1次招集は第4コーナー外のテントで行う。アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受けることで1次招集完了とする。
- ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目にわたって同時刻に出場する競技者は、1次招集時に本人が「二種目同時届」を提出し、最初の種目の1次招集を完了することで、その後の種目の1次招集を兼ねることとする。
- ③ 混成競技は各日の第1種目のみ1次招集を行う。以後は現地にて2次招集を行う。
- ④ 2次招集は現地で行う。
- ⑤ 1次招集および2次招集に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。予選のある種目において、次のラウンドに進んだ競技者は1次招集を行わないが、欠場する場合はその旨を競技者係に申し出ること。
- ⑥ 競技に出場しない場合は、「欠場届」を事前に提出すること。用紙は招集所に準備する。

(2) 招集時刻（競技開始時刻を基準とする）

- ① 1次招集は競技開始2時間前から1時間前完了とする。
- ② 2次招集は次のとおりとする。

トラック予選								
100m・200m・400m			800m・110mH・110mJH・100mH・400mH			1500m		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前
9～12	5分前	5分後						
13～16	5分後	15分後						
17～	15分後	25分後						

トラック			トラック	
5000mタイムレース決勝			準決勝・決勝	
組	開始	完了	開始	完了
1	25分前	15分前	25分前	15分前
2	15分前	5分前		
3	5分前	5分後		

フィールド						混成競技	
棒高跳		その他の跳躍競技		投てき競技		トラック	フィールド
開始	完了	開始	完了	開始	完了	競技開始	
60分前	50分前	50分前	40分前	40分前	30分前	10分前	30分前

- (3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内、競技エリア内に持ち込まないこと。

3. アスリートビブスについて

アスリートビブス(縦20cm×横24cmもしくは縦16cm×横24cm)は、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。

(跳躍競技は胸、背のいずれか一方でよい) また、写真判定にともなう腰ナンバー標識(縦12cm×横18cm)は、男女とも黒字で明瞭に書き右腰後方につけること。

4. 競技の抽選及び番組編成について

- ①トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ（レーン順）はすべて番組編成員が公正に抽選する。
- ②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を越える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。但し、オープンレーン使用種目の同記録者は全員次のラウンドへ進める。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR6に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを越えて周回を残している場合、競技運営上ゴール地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。

（男子）5000m 17分、 5000W 28分

（女子）5000m 19分、 5000W 29分

- ③計測記録は次のとおりとする。

男	走幅跳	5m80	やり投	45m00	少共円盤投	25m00	
女	走幅跳	4m40	やり投	25m00	円盤投	20m00	ハンマー投 25m00

- ④三段跳の踏切板は、砂場から男子13m00、女子は9m00の地点に設置する。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男	走高跳	1 m70、1 m90	1 m75-80-85-88-91-94-97-2 m00-
	十種走高跳	1 m40、1 m70	1 m45-50-55-60-65-70-73-76-
	棒高跳	3 m70、4 m50	3 m80-90-4 m00-10-20-30-40-50-
	十種棒高跳	2 m40、3 m50、4 m00	2 m50-70-90-3 m10-30-50-60-70-
女	走高跳	1 m40、1 m55	1 m45-50-55-58-61-64-67-70-
	七種走高跳	1 m20、1 m45	1 m25-30-35-40-45-48-51-54-
	棒高跳	2 m70、3 m50	2 m80-2 m90-3 m00-10-20-30-40-50-60-

同記録での順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. 競技用具について

- ①スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以下とする。但し、走高跳、やり投は12mm以下とする。
- ②用具は、棒高跳用ボールの他は競技場備付けのものを使用する。但し、やりは本人持参のものを、本部で検査の上使用すること。
- ③やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫内で行う。やりには所属名を記入、前回の検定シールをはがしておくこと。

8. 表彰について

各種目優勝者には選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。

県外登録者の優勝者には賞状を授与する。該当者は直ちに表彰席（玄関ホール）に来ること。

9. その他

- ①本大会6位までの入賞者は近畿選手権大会に出場することができる。但し、県内登録者に限る。出場希望者は、正面玄関ホールの受付まで申し出て、所定用紙を受け取り期日までに申し込むこと。
- ②本大会の記録証明は、正面玄関ホールの受付まで申し出ること。
- ③競技開催中における怪我については、応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ④投てき練習（メディスンボール等を含む）は、一切禁止する。
- ⑤盗難等にあわないように、各自貴重品の管理に留意すること。
- ⑥競技場の環境美化に協力すること。各自が出したゴミ等は持ち帰る、あるいは指定のゴミ用コンテナに持って行くこと。使用した場所は責任を持って清掃すること。
- ⑦競技役員室、また本部席等に無断で関係者以外の出入りを禁止する。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策のため、
下記の注意事項を読み対策を徹底してください。

感染防止対策…3密を回避(密閉・密集・密接)する。

- ①密閉空間(換気の悪い場所 更衣室 室内練習場 トイレなど)
 - ②密集場所(招集場所 スタート待機場 フィールド待機場 など)
 - ③密接場所(各学校待機場〔テント等〕 更衣室など)
-

ソーシャルディスタンス(2m)確保 マスク着用
大声を出さない等の対策を講じる。

- ・応援での来場は自粛すること。また、チームの応援についても自粛すること。
- ・参加選手は競技エリア外では必ずマスクを着用すること。なお、フィールド選手は試技中以外においてマスクの着用をすること。
- ・雨天練習場は、使用できません。
- ・参加者は、体調管理チェックシート(日本陸連公式様式)を大会当日、受付時に提出すること。提出がない場合は参加できない。中高生については顧問の先生の指示に従ってください。
- ・更衣室の滞在は短時間で行い、荷物を置くことは禁止する。またシャワールームの使用は原則禁止とする。
- ・運動中に唾を吐くことは極力行わないこと。
- ・唾液の付着したごみ(マスク等)は自己責任で処理すること。
- ・記録の発表、出場する組の案内等は全てアスリートランキングで行う。(掲示は行わない)
- ・参加選手は招集前に必ず各自で、手洗い、消毒を行うこと。
- ・競技中に体調が悪化した場合(発熱等)、その後の参加を認めない。
- ・投擲競技については、各試技の前に手指の消毒をすること。(消毒液は現地に設置してあります。)
- ・駐車場は警備員を立て、一般の方が駐車できないようにします。選手においても駐車できません。